

「ほどけさまの♡♡♡」

山口県 真福寺副住職 しんぷくじ 大野泰生 たいせい

小学校三年生の娘は、工作が得意です。ある日「おとうさん、これ見て！面白いの作ったんだ！」と出来たばかりの作品を持ってきました。見ると画用紙を三つ折りにし、それぞれの面に人物が描いてあります。肩と腰のところに切り込みが入れてあり、顔や衣装の組み合わせを変えることができるというものでした。描かれた人物の衣装を見ると、今流行のアニメで使用されている「麻の葉模様」や、オリジナルの模様が細い線で描かれています。感心したところや工夫したと思うところを褒めてやると、ぴよんぴよんと飛び上がって喜びました。

私に見せた後は、母親や兄弟へ順に見せて歩きました。そして最後に、まもなく2歳になる妹に、その作品を手渡しました。「ともよちゃん。見て見て！おねえちゃんが作ったんだよ！」と手渡した時、妹は渡してもらったことが嬉しくて、作品を見るよりも先に、バリッ！と破いてしまいました。

娘はショックのあまり、部屋の隅っこでしくしく泣きました。そのときちょうど小学校一年生の弟が姉に、「妹が謝ろうとしているんだけど、言葉が出ないみたいだよ。」と伝えました。そして下の妹に「こんな時は、ごめんなさいって言うんだよ。ほら言ってごらん」と教えました。その言葉の意味を、妹が理解できなかったことに気がつく、今度は姉に「お姉ちゃん！ともよが「ごめんなさい」って思っているよ。まだ自分でしゃべれないから、僕がかわりに謝ってあげる。ともよを許してあげて」と妹にかわって謝りました。

自分の失敗を、言葉がわからないながら、素直に謝ろうとする妹の姿、また姉妹の様子を見て仲裁に入り、なんとかしようとする弟の姿に、私は心が温かくなりました。仏教では、過ちを素直に反省し許しを請うことを、「懺悔」と書いて「さんげ」、そして苦しみを取り除こうとすることを、「慈悲」と言います。私は、兄弟げんかの中に、小さな仏様を見るのが出来ました。